

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

礬土抽出法 (12年特許公告第4562號, 公告12-12-1, 横濱市, 石川等) 従來經濟的に處理し得ざりし粘土, 頁岩等に依り容易に純良なる礬土を抽出分離する目的を以て, 珪酸礬土を主成分とする粘土頁岩等に珪酸及酸化鐵を還元する化學等量に比し不足量の炭素並に少量の石灰及アルカリ等を加へて熔融し, 珪酸, 酸化鐵等の大部分を還元除去し同時に生成する熔融礬土液中に, 珪酸礬土, アルミン酸, 石灰, アルミン酸曹達等を5~15%を含ましめ其流動體を増大し珪素鐵と分別し熔融體を加壓状態水蒸氣空氣に依り噴射し霧狀に分散して150°C迄急冷し綿狀又は羽毛狀の固體とし之を弱酸又は弱アルカリにて處理しアルミナ分を溶解浸出することを特徴とする礬土抽出法

圓筒狀の胴爐を備ふる金屬製煉用爐 (12年特許公告第4565號, 公告12-12-1, 東京市, ドクター, カール, クライヤー) 連續的に且迅速に金屬特に銅の裝入及精煉を行ひ得ると共に燃料をも著しく節約し得る金屬精煉用爐を得んとする目的を以て, 其の縦軸の周りに廻轉又は傾斜し得る胴體に於て更に其の垂直軸の周りに少くとも180度回動すべくなすことを特徴とし胴體の兩端部に於て裝入物の裝入及(又は)點火を行ひ得る圓筒狀の胴體を備ふる金屬精煉用爐

鉛及鐵を含有する硫化亞鉛鑛の處理方法 (12年特許公告第4566號, 公告12-12-1, 東京市, 正木康作) 亞鉛を鹽化亞鉛の狀態として容易に除去すると共に鉛を經濟的に得んとする目的を以て, 原鑛を粉碎し之に生石灰を加へ焙燒して硫化亞鉛を酸化鉛に硫化鉛を硫酸鉛に變する工程と得たる殘留物に濕状態に於て鹽素瓦斯又は鹽酸又は兩者を作用せしめて鹽化亞鉛を溶液として分離抽出する工程との其の殘渣を乾燥し是れに生石灰及鹽化カルシウム並に冷水を加へ殘留する酸化亞鉛を可溶性鹽化亞鉛として抽出分離する工程と其の殘渣に食鹽を加へ硫酸鉛を鹽化鉛として酸化鐵及硫化カルシウムより抽出分離する工程との順序結合を特徴とする鉛及鐵を含有する硫化亞鉛鑛の處理法

蛇紋石よりニッケルを抽出する方法 (12年特許公告第4567號, 公告12-12-1, 東京市, 樋口喜六) 簡單なる手段に依り蛇紋石の主要成分たる水化珪酸マグネシウムを酸に不溶性に又ニッケルは易溶性に變質せしめ以て酸の消費を減じ經濟的にニッケルを抽出する目的を以て, 蛇紋石に石灰及珪酸アルミニウム及炭素を加へ爐内に於て加熱し蛇紋石を熔融又は半熔融し珪酸マグネシウムを硝子化し之を硫酸に不溶性形態に變じ且つ炭素に依りニッケル分を還元し分散せる微細末を粒狀に凝集せしめたる後粉碎分別し硫酸に處理しニッケルを硫酸ニッケルとして溶解せしむることを特徴とする蛇紋石よりニッケルを抽出する方法

鋼線を熱處理すると同時に眞直となす方法 (12年特許公告第4568號, 公告12-12-1, 兵庫縣, 篠彦次郎) 鋼線を熱處理しつゝ眞直ならしめんとする目的を以て, 鋼線を燒入爐及燒鈍爐内を通過せしめつゝ連續的に熱處理を行ふに際し燒入爐内若くは燒鈍爐内に於て一方向又は反覆交替的に鋼線を撚回せしむる鋼線を熱處理すると同時に眞直ぐとなす方法

バイメタルの改良 (12年特許公告第4569號, 公告12-12-1, 仙臺市, 金屬材料研究所長) 作動甚だ鋭敏にして大なる不誘性を有し放射高温計の如き微熱に對し適切に使用し得る双金屬體を得る目

的を以て, 温度の上昇に應じ極度に收縮する合金即ち白金48~58%鐵52~42%より成る鐵, 白金合金を基礎とし之に正の熱膨脹係數を有する金屬又は合金を双合せしめたる事を特徴とするバイメタル

金屬製圓筒の製造方法 (12年特許公告第4573號, 公告12-12-1, 東京市, 隅田欣眞) 薄板より堅牢にして屈撓性に富む圓筒を容易に得んとする目的を以て, フタル酸, 脂肪酸, 及グリセリン縮合物より成る人造樹脂を金屬薄板の面に塗布し風乾したる後該塗布面を内面として圓筒形となし而して其端部(重合部)を内外より挾持具を以て挾持せしめつゝ100~150°Cにて約30分~1時間加熱せしむることを特徴とする金屬製圓筒の製造方法

研磨砥製造法 (12年特許公告第4581號, 公告12-12-1, 東京市, 飯塚定次) 簡單にして經濟的なる操作に依り適度の硬度を有し研磨力強大にして且其の質堅靱なる製品を廉價に得んとする目的を以て, 纖維素を苛性曹達溶液に浸漬したる後二硫化炭素を以て處理し水にて練捏したるものに金剛砂其の他適宜の研磨劑を加へて練合し型に入れ加熱壓搾して研磨砥を製造する方法

礬土質原料よりアルミナの製造法 (12年特許公告第4603號, 公告12-12-3, 東京市, 東京工業試験所長) 簡單なる操作により前記の如き珪酸含有量比較的大なる礬土質原料より粗或は純アルミナを經濟的に得んとする目的を以て, ボーキサイト, 礬土頁岩, 高嶺土, 耐火粘土, ダイアスポア, 目玉石, 其他珪酸礬土鑛の如き礬土質原料を900~1,300°Cに燒成し苛性アルカリ又は炭酸アルカリ溶液を以て常壓又は僅かに加壓の下に處理し其の含有珪酸を溶解せしめ濾別し濾液に珪酸アルカリを得て濾過殘滓は粗アルミナとなし又は更に精製して純アルミナを得ることを特徴とする礬土質原料よりアルミナを製造する方法

骸炭爐の廢熱を利用する石灰石焙燒爐 (12年特許公告第4605號, 公告12-12-3, 東京市, 關幸雄) 骸炭爐中に於ける上方よりの加熱を強大ならしめて良質の硬質骸炭を得ると共に其の餘熱を石灰石焙燒中に導きて利用し石灰石の焙燒に要する燃料費を節約せしめんとする目的を以て, 骸炭爐の上部に二次燃焼室を重設し該燃焼室に骸炭爐中に於て發生する本燃焼瓦斯を導入して二次通風の下に完全燃焼を遂しめ其の燃焼瓦斯を上端を開閉し得べくなし下半部周壁に多數の透孔を穿設せる通風筒を火格子の上に立設せしめたる石灰石焙燒爐の下方に導きて成る骸炭爐の廢熱を利用する石灰石焙燒爐

製線機に於ける線緊張度調整裝置 (12年特許公告第4630號, 公告12-12-6, 東京市, 川添勝次郎) 線の緊張度の強弱に關係して圓錐形調車の無端帶を其後に移動して線の緊張度を常に一定せしめんとする目的を以て, 原動機の回動に依り第一の圓錐形調車を回轉し該第一の圓錐形調車と之に相對して大き方を反對に位置せしめて設置せし第二の圓錐形調車とに無端帶を懸架し該無端帶を該調車の軸線方向に移動し得べくなし第二の圓錐形調車より調車を介して線捲取轉子に傳導する如くなし線が捲取轉子の全面に捲き取られたるとき前記無端帶を一定方向に移動せしむる機構を作動せしむる装置を具へ線捲取轉子の回轉速度を徐々に遅からしめ且線を機枠に懸架したる廻動杆の轉子に懸架し該廻動杆の一端なる扇形齒車に他の轉子を齧合し以て線の張力に應じ該轉子を右又は左に廻動する如くなし該轉子に設けたる板の端部と其の他側の固定端部とに依り形成せる時限開閉器により圓錐形調車の無端帶移動機構作動用電動機の

回路を形成して電動機を正轉又は逆轉せしめ前記無端帶を移動しつゝある方向に更に移動するか若くは其の逆方向に移動し以て線捲取轉子の回轉速度と線速度とを關係的に調整することを特徴とする製線緊張度調整装置

管狀又は板狀鉛を鑲着する方法 (12年特許公告第4636號, 公告 12-12-6, 尼ヶ崎市, 濱田隆一) 被鑲着材料面に管狀又は板狀鉛を安全確實に鑲着し且つピンホールを有せざる鉛壁を構成せしめんとする目的を以て鐵又は銅真鍮等の金屬材料にて作れる管及び容器等の内面に軟鐵を被覆し置き其の内壁に沿ふて鉛管を挿入し又は鉛板を當て嵌めて然る後之れに豫め鑲着に必要な温度に加熱せる油を充滿せしめて密閉し而して内部の油を鉛面に壓迫さすべく外部より水壓機等にて壓力を與へ鉛を膨脹せしめて緊密に接着さすと同時に油の熱に依りて鑲着することを特徴とする管狀又は板狀鉛を鑲着する方法

耐熱電氣絶縁用磁器製造法 (12年特許公告第4637號, 公告 12-12-6, 東京市, 近藤清治, 外一名) 強度及耐熱性の極めて大にして高温度に於ける電氣絶縁値は甚だ高く且低膨脹性を具備する磁器を廉値且容易に得んとする目的を以て, 滑石又は菱苦土鑛と粘土及酸化アルミニウムとを主原料とし薑青石を主成分とする磁器の製造に於て副原料として, 酸化第二鐵, 酸化カルシウム, 過酸化マンガ, 及長石の少量を添加することを特徴とし次に之を混合磨砕成形焼成することより成る耐熱電氣絶縁用磁器の製造法

耐火物製造法 (12年特許公告第4638號, 公告 12-12-6, 東京市, 近藤清治外一名) 焼成温度を低下し耐火度を損せずして而も緻密堅硬なる耐火物を得る目的を以て, 前記の目的を達する爲め耐火材料及耐火製品を焼成するに當り, 豫め之等に少量の鹽化アンモニウムを混合することを特徴とする耐火物製造法

滑石電氣絶縁用磁器製造法 (12年特許公告第4639號, 公告 12-12-6, 東京市, 近藤清治, 外一名) 組織の極めて均質緻密且純白等方性にして硬度大なる滑石電氣絶縁用磁器を廉價且迅速に得んとする目的を以て, 滑石削刻品又は其粉末成形物を焼成して滑石電氣絶縁用磁器を製造するに當り, 鹽化アンモニウム硫酸アンモニウム炭酸アンモニウム, 硝酸アンモニウム, 等のアンモニウム化合物の蒸氣或は其等の熱分解生成物を作用せしめつゝ 200~1,200°C に於て加熱する事を特徴とする滑石電氣絶縁用磁器製造法

裝飾用鎖熔着装置 (12年特許公告第4670號, 公告 12-12-8, 埼玉縣, 淺倉義弘) 鎖の各環の熔着部を容易迅速且正確に自動熔着せしめて堅牢なる製品を經濟的に整出せしめんとする目的を以て, 連続整形したる鎖を誘導壁に沿ふて一回宛間歇的に繰出すべき回轉型繰出齒輪機構と斯く單數個宛繰出されたる鎖環を繰出さるゝと同時に縦方向に回動する整位杆は下降して此の鎖環の後部を壓下し誘導壁末端部と協力して之の熔着部を上方に露出せしめて之を挾持すると共に横方向に回動する整位杆は挾持せられたる以前の鎖環群を排除して加熱部より遠ざける整位機構と斯くして露出せられたる瞬間に回動し來りて此の熔着部を加熱して熔融接着を完了せしむる加熱吹管とを具へたることを特徴とする裝飾用鎖熔着装置

コールタールピッチ及石油ピッチ類より固定炭素を得る製造方法 (12年特許公告第4672號, 公告 12-12-8, 横濱市, 河西コークス製造株式会社) 高温耐火煉瓦造り爐を使用し, コールタール, ピッチ, 石油ピッチ, 其等の混合物及びアスファルト類より燃料を要せず, 連続的に且操作容易にして優秀固定炭素を得んとする目的を以て, 爐の内を熱したる壁其蓄熱によりてコールタールピ

ッチ又は石油ピッチ類の含有揮發分を發生せしめ通風空氣量を調節しつゝ之を徐々に燃焼せしめ更に含有する揮發分の發生及燃焼を持續せしめて一操作を以て乾留することを特徴とするコールタールピッチ及石油ピッチ類より固定炭素を得る方法

貧鐵石濕式選鐵法 (12年特許公告第4674號, 公告 12-12-8 滿洲國, 株式會社昭和製鋼所) 貧鐵鑛中の夾雜物たる珪酸を溶解せしめずして單に鐵分より別離し易き状態となし之を分別して高品位の精鑛を作る目的を以て, 貧鐵鑛石を極少量の苛性アルカリと共に加壓罐中にて比較的低压短時間に鑛石中の珪酸を浸蝕せしむると同時に鑛石に密着せる部分は之を剝離し共に其の表面をコロイド化せしめ比重並に重量を減じたる後水流による淘汰法に依りて分離除去し精鑛を得るを特徴とする選鐵法

電氣收塵器に於ける電極槌打装置 (12年特許公告第4689號, 公告 12-12-8, 東京市, 株式會社日立製作所) 各收塵室に於ける槌打の過不足をなからしめ其の過不足に依りて起りたる従來の種々の弊害を除去する目的を以て電氣收塵器の各收塵室に於ける電極槌打勢力を其の收塵室中に收塵せらるゝ塵埃の量に比例して附與したることを特徴とする電氣收塵器に於ける電極槌打装置

岩石の爆破抵抗力測定装置 (12年特許公告第4692號, 公告 12-12-10, 東京市, 日本鑛業株式會社) 簡單なる操作に依り岩石爆破に要する爆藥量の計出に適切なる係數を見出し得る測定装置を得んとする目的を以て, 試験片の中央垂直孔に略嵌合する直杆と該直杆を直杆支持棒に對し上方に壓接支持するバネと直杆の下端を試験片の孔底に壓力を與へずして接する如く調整する装置と直杆の上端に落下槌の衝撃を與ふる装置と直杆の垂直變位を記録する装置となり成ることを特徴とする岩石の爆破抵抗力測定装置

機械油 (12年特許公告第4706號, 公告 12-12-10, 三重縣, 西村宇兵衛) 機械油をして悪臭なく減摩冷却及油の乗り良好にして油自體に酸化の虞なからしめんとする目的を加へて, 一部水素添加並びにメチルアルコール又はエチルアルコールの如き低級なる一價アルコールを以てアルコールシスしたる魚油及溶劑抽出法に依りて製出せる粗大油を静置せしめ底部の沈澱部を採集したる大豆油沈澱油の兩者が鑛油油に混合せられたることを特徴とする機械油

遠心力に依る不純アルミニウムの精製方 (12年特許公告第4708號, 公告 12-12-10, 關東州, 大日方一司) 不純アルミニウムの精製を容易且有利に行はんとする目的を以て, 廻轉せしめ得る容器内に於て不純アルミニウムを其の熔融温度以下凝固温度以上の温度に加熱し, 鐵, 珪素, チタニウム, 等の不純物を固體化合物としてアルミニウム母液内に偏析したる不純物を容器を廻轉し遠心力作用に依り迅速に分離する事を特徴とする不純アルミニウムの精製法

飛行機用自動開閉式車輪被覆装置 (12年特許公告第4731號, 12-12-13, 神戸市, 株式會社川崎造船所) 飛行中車輪の空氣抵抗を減少し飛行機性能をも向上せしめ然も離着陸に支障なからしめんとする目的を以て, 飛行中車輪全體を被覆し着陸に際し接地横桿の接地によりて自動的に該被覆を開設し得べくしたる飛行機車輪被覆装置

粘結性石炭の低温乾留装置 (12年特許公告第4744號, 公告 12-12-13, 東京市, 三村省三) 殊に粘結性石炭を使用して有効に半成炭を製出する連續乾留装置を得る目的を以て, 資料を前進する扇形頭片と之に對置して資料を攪拌する脚桿との順列群體を荷ふ動軸をして回轉しトルト圓筒の軸線に沿ひて往復運動を行はしめ其前進行程と後退行程との各終端位置に於て該動軸を半回轉する如くな

したる粘結性石炭の低温乾燥装置

一酸化炭素及水素より液體燃料を合成する方法 (12 年特許公告第 4746 號, 公告 12-12-13, 東京市, 東京工業試験所長) 觸媒をして堅牢永續性たらしめ低廉なる生産費を以て高オクタン價の液體燃料を合成せんとする目的を以て, *Fe, Ni, Co, Mn, Cr, Cu, Ag, Mo, W, Al, Mg, Zn, Th*, 又は此等の二種若くは數種より成れる合金を金屬狀態其儘を主體とし直接之に硝酸鹽酸蟻酸等の揮發性の酸又は上記金屬或はアルカリ金屬と上記揮發性の酸より成る鹽類の溶液若くは其等の酸及鹽類溶液の混合物を作用せしめて賦活したる觸媒を使用し且 50 氣壓以上の高壓下に於て操作する一酸化炭素及水素より液體燃料を合成する方法

鉛を炭素含有率高き鐵鋼類に接着する方法 (12 年特許公告第 4747 號, 公告 12-12-13, 横濱市, 早川數馬, 外二名) 炭素含有率 0.3% 以上の鐵鋼類に殆ど或は全く純粹なる鉛を直接且堅固而も平滑に又ピンホールを生ずる事なく接着し得しめ而も水素に基く脆弱化作用を鐵鋼類に與ふることなからしめんとする目的を以て鐵鋼類の皮部より脱炭し炭素含有率を 0.3% 未満になしたる後更に加熱し地鐵素地の露出せる部分に酸化鐵水酸化鐵等を生ぜしめ次に鹽化亞鉛を加熱して生成せる淡黄色にして鹽素瓦斯を發散する粘稠版を接着媒劑として塗布し上記鐵鋼類の A. 變態點より高温度にして而も接着媒劑が鹽素瓦斯を發散せざるに至る温度未満の温度に保てる熔融鉛を觸れしむることを特徴とする鉛を炭素含有率高き鐵鋼類に接着する方法

ニッケル電鍍に於ける斑痕防止法 (12 年特許公告第 4781 號, 公告 12-12-15, 北米合衆國, ザ, ハルショウ, ケミカル, コムパニー) 電鍍液の表面張力を糖に付 50 ダインを超過せざる程度に低下せしむることに依り鍍金面の斑痕を完全に除去防止せんとする目的を以て, 炭素五原子以上を有するスルフオン化アルコールをニッケル電鍍浴に加へて電解を行ふことを特徴とするニッケル電鍍に於ける斑痕防止法

加壓鑄造装置 (12 年特許公告第 4808 號, 公告 12-12-16, 東京市, 古城鴻介) 流體の氣化膨脹壓力を利用する鑄造方法の實施に適し湯通り迅速良好にして, 鑄造能率を向上せしめ得べき簡單なる装置を得る目的を以て, 熔融金屬容器の上端部外側に所望容量の蒸發室を構成し該容器と蒸發室とを蔽蓋にて密閉すべからしむると共に兩者の境壁に適當數の通氣孔を穿設して之を連通せしめたることを特徴とする加壓鑄造装置

マグネシウムの熱的製造法 (12 年特許公告第 4813 號, 公告 12-12-16, 獨逸國, イー, ゲー, フアルベンイングストリー, アクテュンデゼルシャフト) 極めて有利に *Mg* を熱的に製造せんとする目的を以て急冷を *Mg* の沸點以下の温度に於て熔融する無水の固形鹽に依りて行ふ事の特徴とする *Mg* を凝縮する爲めに爐瓦斯を急冷しつゝ炭類を以て還元することに依り酸化マグネシウム或は酸化マグネシウム含有物質よりマグネシウムを熱的に製造する方法

アルミニウム電解装置 (12 年特許公告第 4838 號, 公告 12-12-19, 大阪市, 日本窒素肥料株式會社) 電解生成瓦斯をして原料中を通過せしめず速かに放散せしむる事により装入原料を飛散せしめず且連續的に電極を補給すべき *Al* 電解装置を構成する目的を以て三個以上の扇地形断面を有する電極單位を互に相參差せしめたる位置に於て接着劑にて堅密に接着せしめて成る中空圓筒形の短き陽極電極を備ふる事の特徴とする *Al* 電解装置

特許拔萃

特許番號	名稱	特許權者	鐵と鋼
122538	マンガンシリサイド製造法	日本電氣工業株式會社	第23年, 7號
122575	金張線金製造方法	小森宮由太郎	なし
122579	混炭重油製造法	海軍大臣	なし
122600	鋼線連續熱處理法	關西製鋼株式會社	第22年, 4號
122657	マグネシウム又はマグネシウムを主成分とする輕合金の防蝕方法	南滿洲鐵道株式會社	第23年, 9號
122673	試錐刃製造方法	鹽田岩治	なし

第5回化學機械及製品展覽講演會

1. 期日 昭和 13 年 3 月 22~26 日の豫定
2. 會場 府立東京商工獎勵館 (東京市麴町區丸ノ内三ノ一)
3. 出品物 A. 種類—化學機械裝置器具及び化學製品等但し出品物選擇は主催者に一任せられたし B. 陳列様式—一次の 2 種とし出品者の希望を斟酌して主催者に於て適宜之を定む C. 搬入—出品物は出品目録を添へ昭和 13 年 3 月 20~21 日中に會場に搬入陳列を完了すること D. 保管—出品物は主催者に於て看守, 宿直を附し充分の注意を加ふ。但し不可抗力に依る損害は其責に任せず
4. 出品物紹介講演 A. 出品物に對する紹介講演を希望するものは講演時間 20 分以内質問時 5 分以内に於てなし得。但し講演者は質問に應じ得る人たること B. 紹介講演の選擇及順序は主催者に一任せられたし
5. 説明用小冊 (3,000 部印刷の豫定, 會期中會場にて頒布す) 出品物に就き四六版 9 ポイント組, 寫真版, 圖表等を含み刷上り 2 頁以内 (400 字詰原稿用紙 5 枚) を掲載す。別刷希望の場合は 200 部以上に限り申込に應ず
6. 申込手續 7. 會費 等及其他詳細は東京市麴町區丸ノ内 3ノ1 府立東京商工獎勵館内 第 5 回化學機械及製品展覽講演會事務所へ照會の事
主催者 府立東京商工獎勵館 社團法人工業化學會關東支部
社團法人化學工業協會 化學機械協會

國民精神總動員國防大博覽會計畫概要

- 主催者 日本博覽會協會 東京市麴町區丸ノ内三ノ十四東京商工會議所内(電)丸ノ内 35-38 番
1. 名稱 國民精神總動員國防大博覽會
 1. 會期 昭和 13 年 3 月 25 日より 5 月 18 日に至る 55 日間
 1. 會場 東京市上野公園不忍池畔
 1. 後援並豫定 陸軍省 海軍省 農林省 商工省 逓信省其他關係各省 總督府 廳 道 縣 市 商工會議所等
其他關係諸團體並新聞社
 1. 經費豫算 450,000 圓
 1. 出品
 - (1) 陸海空軍に關する各種兵器, 資材, 裝備等
事變に關係ある各種出品 事變による戦利品 事變關係參考品, 防空防護に關する施設及出品
 - (2) 戦時體制下の軍需工業出品 軍需に關する生産並戦時體制下の國産品
 1. 施設
 - (1) 陸戰 海戰 空戰の實況を移動式又はパノラマ, チオラマに由る場面
 - (2) 陸海兩空軍飛行機並之に附屬する整備用器具 用品等
 - (3) トーチカ 装甲列車 装甲車 タンク等實物又は模型
 1. 其他の施設等
出品其他申込期日
出品申込期限 2 月 15 日 特設物 2 月 15 日 廣告物 2 月 15 日
館内場所使用土地使用料及保證金其他一切は主催者へ照會の事